

Mirror Status Monitor取扱説明書

1. 機能

本ソフトウェアは、ミラーリング・デバイスのステータスを監視し、ステータスに変化があった場合、そのステータスをポップアップ・ウィンドウで知らせる状態監視ソフトウェアです。

2. サポート OS

Windows Server™ 2003、Windows® XP、Windows®2000、WindowsNT®4.0

※機種によって対応OSが異なりますのでご注意下さい。

3. インストール

適当なフォルダを作成してadtxmsm.exeとlogmsgs.dllをコピーして下さい。
スタートアップに登録しておくと便利です。

注) 改版などにより最新版を入手しadtxmsm.exe を差し替えた場合、起動時に

「SMARTアトリビュートデータを保存しましたPrimary Master」のポップアップ画面が表示される場合があります。

この場合には、adtxmsm.exe を起動し、「オプション」メニューより、「設定」→“OK”を設定してください。

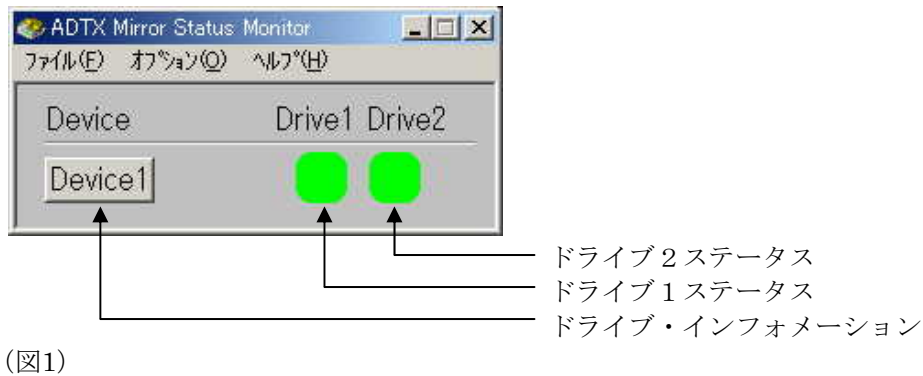
注)

本ソフトウェアを使用する場合には、
必ず Administrator 権限を持ったユーザーでログインして行ってください。

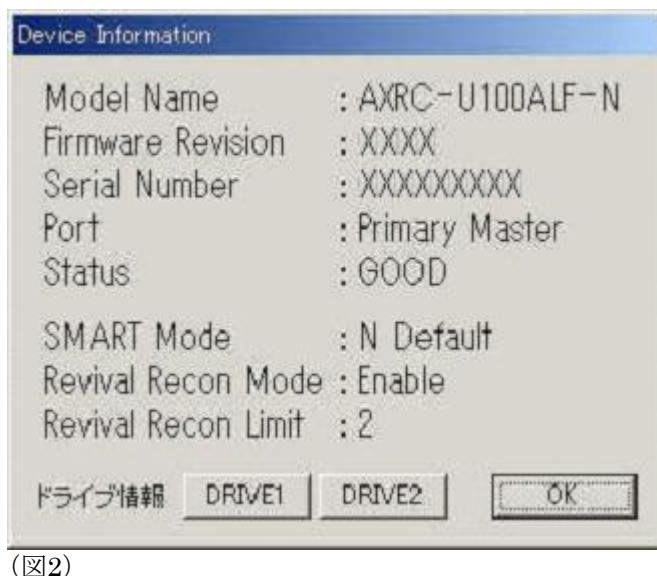
4. 使用方法

4.1. 起動画面

ソフトウェア「adtxmsm.exe」を起動すると下記の画面が表示されます。



[Device1]のボタンをクリックするとデバイス・インフォメーションが表示されます。



各表示の内容は以下のとおりです。

Status

GOOD	正常。
Drive 1 FAIL	ドライブ1が故障(FAIL)しています。
Drive 2 FAIL	ドライブ2が故障(FAIL)しています。
Drive 1 RECON	ドライブ1へのデータ再構築中です。
Drive 2 RECON	ドライブ2へのデータ再構築中です。
GOOD (SKIP RECON)	正常ですが、データ再構築中に読み出せないセクタを検出しました。

SMART Mode

- ・ N Default : ドライブが1 台故障の場合はSMART Attribute Values が閾値を越えたものとして SMART Return Status コマンドに対しSMART エラーを返します。【推奨設定】
- ・ U Default : ドライブが1 台故障の場合であってもPOR、Hard Reset、Soft Reset 後の最初の SMART Return Status コマンドのみ正常として返します。それ以降はSMART Attribute Values が閾値を越えたものとしてSMART エラーを返します。

Revival Recon Mode

- ・ Enable : リバイバル・リコン実行可能 【推奨設定】
- ・ Disable : リバイバル・リコン実行不可

Revival Recon Limit

リバイバル・リコンの制限回数を示しています。【推奨設定：2回】

4.2. ドライブ・ステータスの表示

各ドライブのステータスは、以下のように表示されます。

-  ... 正常
-  ... フェイル（ドライブ故障）
-  ... データ再構築中
-  ... 正常

データ再構築は終了しましたが、ドライブの一部に読めないセクタを検出しました。
このセクタを使ったファイルがあった場合には内容が失われている可能性があるので、
Windowsに添付のツールにて該当箇所の確認とディスクの復旧を行ってください。

4.3. ドライブからの情報取得 （2004 年 8 月以降に発売開始された機種のみ）

（図 2）の画面で[Drive1]または[Drive2]のボタンをクリックすると、（図 3）の画面が現れます。この画面には、選択されたドライブにアクセスし、そのドライブに保存されているミラー・デバイスのエラーログを取得する操作が含まれています。



（図3）

Revival Recon Count

画面例“0(2)”の“0”は、リバイバル・リコンが発生した回数を表示しています。また、“(2)”はリバイバル・リコンの制限回数の設定値です。

エラーログの保存

（図 3）の[エラーログの保存]のボタンをクリックすることでドライブ上に保存されているエラーログを取得することができます。取得したエラーログはファイルに保存されます。
[エラーログの保存]ボタンをクリックすると「ファイルの保存」のダイアログが開き、そこでファイル名を指定します。ファイル形式はバイナリ・ファイルです。

注) エラーログ内容は障害発生時に弊社が解析いたします。
弊社へお問合せの上、対処してください。

4.4. ステータスの変化

ステータスに変化があった場合、次のようなポップアップ・ウィンドウが現れ、内容が表示されます。



(図4)

下記の場合、ステータスの変化によりポップアップでステータスが表示されます。

- ・ドライブが故障 (FAIL) したとき
- ・データ再構築が開始されたとき
- ・データ再構築が終了したとき

4.5. オプション

・設定



(図5)

モニタリング周期の設定

[オプション]－[設定]でステータスのモニタリング周期の変更ができます。

サンプリングの間隔は、モニタリング周期のボックスに表示される時間の中から選択できます。

選択可能な時間は、30秒、1分、10分、30分です。初期値は1分です。

SMART情報取得周期の設定 (2004年8月以降に発売開始された機種のみ)

[オプション]－[設定]でSMART情報の取得周期を変更できます。

情報の取得周期は、SMART情報取得周期のボックスに表示される時間の中から選択できます。

選択可能な時間は、1時間、24時間です。初期値はOFF (一定時間毎のデータ取得は無効) です。

リバイバル・リコン制限回数の設定

[オプション]－[設定]でリバイバル・リコンの制限回数を設定できます。

0を設定した場合は、リバイバル・リコンは無効となり、255を設定した場合は無制限となります。

SMART Modeの設定

[オプション]－[設定]でSMART Modeを設定できます。

[U Default]の場合は、ドライブ1台故障後、最初のSMART Return Statusコマンドに対しノーマルのステータスを返し、その後のSMART Return Statusコマンドに対してはエラーを返します。

[N Default]の場合は、ドライブ1台故障後、SMART Return Statusコマンドに対しいエラーを返します。

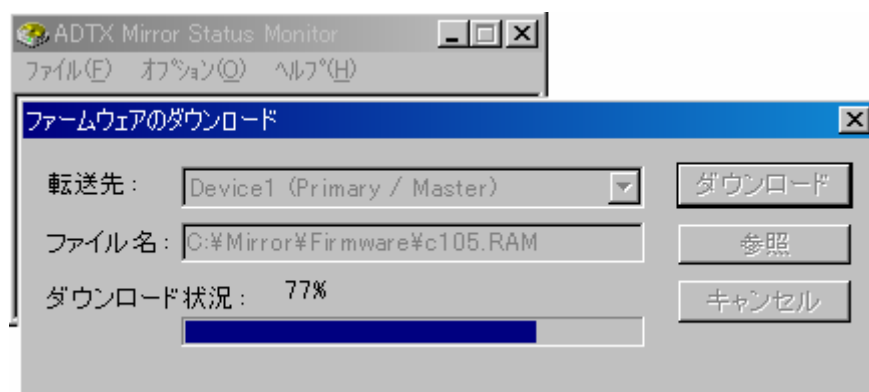
- ・**更新**

[オプション]－[更新]で最新の情報に更新します。F5キーで更新できます。

- ・**ファームウェアのダウンロード** (2004年8月以降に発売開始された機種のみ)

[オプション]－[ファームウェアのダウンロード]でミラーリング・デバイスのファームウェアを更新できます。

メニューから[ファームウェアのダウンロード]を選択すると下記のダイアログボックスが開きます。まず、ファームウェアの更新を行いたいデバイスを選択し、その後[ダウンロード]ボタンをクリックします。ダウンロードするファイルを選択するとダウンロードがはじまり、下記のようにデータ転送のプログレス（ダウンロード状況）が表示されます。



(図6)

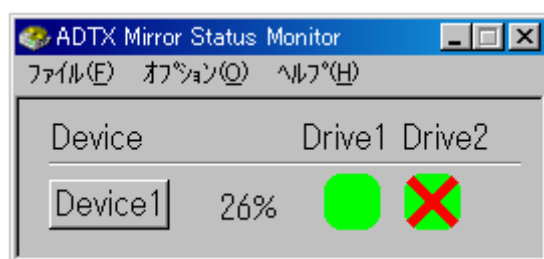
注) ファームウェアのダウンロード後は、必ず「シャットダウン」による電源 OFF を実行してください。

- ・**ブザーの停止**

[オプション]－[ブザーの停止]でブザーの停止は、FC-28V/FC-20Xでは動作しません。

4.6. データ再構築のプログレス表示 (2004年8月以降に発売開始された機種のみ)

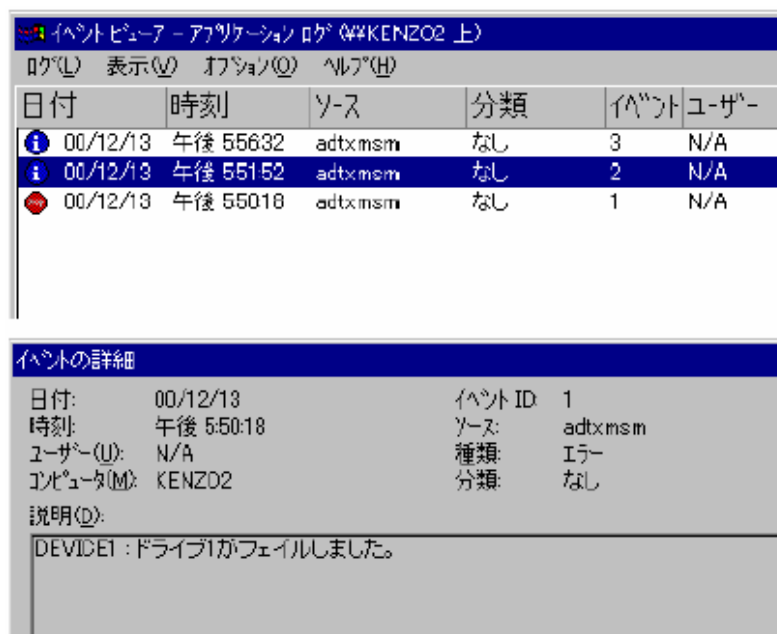
データ再構築が始まると下記のようにプログレスが表示されます。



(図7)

4.7. イベント・ログ

Windows Server™ 2003、Windows® XP、Windows®2000、WindowsNT®4.0をご使用の場合、次のようにステータスの変化がイベントビューアのアプリケーションログに書き出されます。



(図8)

5. 制限事項

Windows Server™ 2003、Windows® XP、Windows®2000、WindowsNT®4.0において、CD-ROMをマスター、ミラーをスレーブにし同じポートに接続した場合、認識することができません。

6. 機能一覧

	FC-28V/FC-20X FC-24VE/FC-20XE	FC-24V・FC-12HE・FC-12H・ FC-85H/E・FC-86J・FC-56H・ FC-55J・FC-43H・FC-35D
ドライブ・ステータス表示	○	○
ドライブ・インフォメーション	○	○
ステータス変化時のポップアップ通知	○	○
ファームウェアのダウンロード	○	×
データ再構築中のプログレス表示	○	×
イベント・ログへの記録	○	○
エラーログの取得	○	×

FC98-NX シリーズに関する情報は以下のホームページをご覧ください。

URL:<http://www.nec.co.jp/fc/>